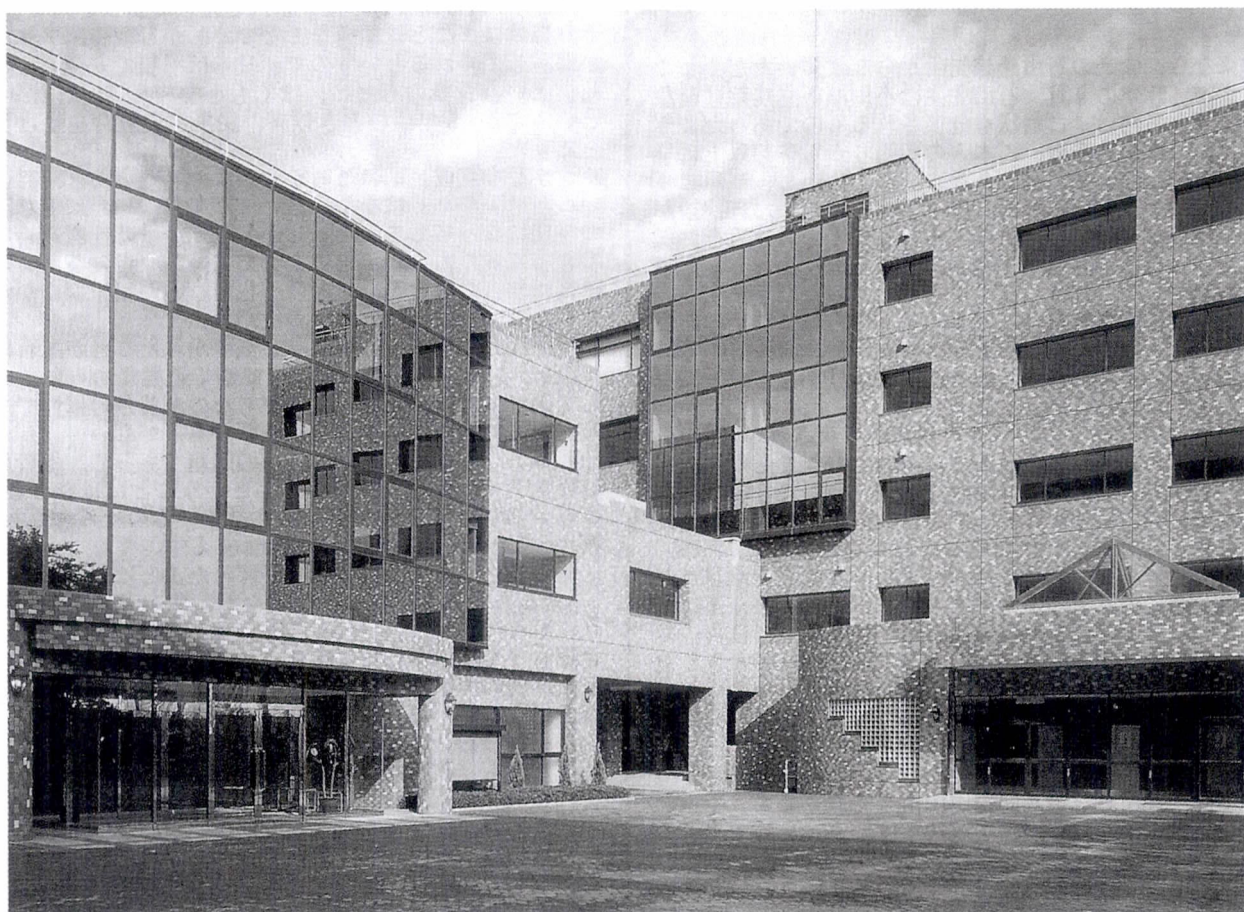




銅像山通信 第2号

浅野学園同窓会会報・平成11年 VOL 1

発行日：平成11年4月26日 発行人：浅野学園同窓会



目次

「同窓会の発展をめざして」

同窓会副会長・石崎 廣 矣 … 2

「浅野の現在」

浅野中・高等学校長・石橋 義 史 … 2

平成10年度 浅野学園同窓会総会報告 … 3

平成10年度 同窓会収支報告・役員一覧 … 3

委員会から（財務・総務・親睦・広報）… 4

会員だより・1「わが校歌」

38期 山口 秀 男 … 4

同窓会規約 … 5

会員だより・2「インターネット」

49期 細野 泰 彦 … 5

掲示板 … 6

- ・同窓会ホームページ開設
- ・53期同期会のご案内
- ・同窓会総会のご案内
- ・平成11年度主な学校行事
- ・学園の史料を探しています

「80周年に向けて」

同窓会副会長・石川 喜 教 … 7

編集後記 … 7

平成11年 大学入試合格者数一覧 … 8

ご挨拶

同窓会の
発展をめざして

浅野学園同窓会副会長

石崎 廣 矣 (15期)



本来なら、会長の石山延雄先生からご挨拶いただくところですが、昨年の9月、石山先生は小田原市立病院に緊急入院され、当初は、ご病状も危惧されるものであったようですが、ご家族の看病、ご本人の頑張りから予想以上に早く回復され、昨年末に退院されました。しかし、リハビリをなさりながらの自宅療養を続けておられ、まだご挨拶がいただけませんので「皆様によろしく」とのお言葉をお伝えして、1日も早いご全快をお祈り申し上げながら、僭越ではありますが、代行してご挨拶させていただきます。

このたび、広報委員会の方々の並々ならぬご奉仕のお陰によって、『浅野学園同窓会報』第2号が、創刊第1号に引き続いて発刊され、会員の皆様にお届けできることになり、大変うれしく思います。

平成9年度の総会において新規約が可決されて発効し、平成10年度の総会で新役員をご承認いただきました。引き続いて規約第8条により幹事会で選出、会長より委嘱された運営委員が、総務・財務・広報・親睦の4委員会を構成して会務を分掌していただけることになり、ここに一応、新規約に基づく新組織づくりが完了して、総会で承認された事業計画に従っての事業が次々に実行されていく運びとなりました。このことは、会長石山先生をはじめ役員、幹事一同の念願とする活性化に向かって、また一步大きく前進することができたことであり、会報の発刊もその一つの現れとして、誠に意義あることとして会員の皆様と共に喜びを分かち合いたいと思います。

本会の目的の達成をめざすためには、これから手がけていかなければならない諸問題が山積しております。やっと緒についたばかりですが、平成10年度の実績を踏まえ、やれること、やらなければならないことを、次年度から一つずつ、徐々にではあっても、必ず実現していきたいと願っております。

会員の皆様には、是非心をつにして温かいご理解とご関心をお寄せいただき、本会の望ましい発展が実現できますよう、絶大なるご支援とご協力を伏してお願ひ申し上げます。

会員の皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。言葉は足りませんが、ご挨拶とさせていただきます。



浅野の現在

浅野中・高等学校長

石橋 義 史 (31期)



月1回、生徒会の役員と昼食を共にし、よもやま話に興ずるのが恒例となっている。以下、そうした折のやりとりの一端を披露し、もって母校の現在を思いやるよすがとしていただければ幸いである。

——最近の社会についてどう思われますか。

「戦後の教育はことのほか自由と権利が主張されてきた。それ自体はまことに結構なことで、しかも戦勝国アメリカが保護してくれるというので、日本は平和で安全で心配なし、という背景のもとに、ほくも小学校(当時は国民学校といったが)5年生のとき以来、民主主義教育を受けて育ってきた。

しかし高度成長期のころからか、やりたいこと・言いたいことは、やりっぱなし・言いつぱなし、いわば垂れ流しの時代になってしまった。しかもそういう時代風潮のなかで育ってきた大人が、子供を育てている。自分さえよければ後は知ったことか。他者の不在だ。心が糖尿病にかかっている者の氾濫だ、というわけだ」

——浅野生の気質の変化など気づかれたことがあれば。

「自分の視点・観点を確立してゆく過程にあって、えてして偏狭・偏頗・偏屈になりがちなのが若さの属性でもある。偏って偏って偏りきる一時期があってもいい。しかしそれはあくまで〈自己の内部〉の問題であって、他者に対して無礼で、不躰であってよいということにはならない。ごく一部ではあるが、そういう生徒がいるのは残念であり、嘆かわしいと言わざるをえない」

——最近、浅野生のことで喜ばれたことは。

「あるある。3月のいつだったか、期末考査中で久しぶりに早めに下校し、すっかり春めいた陽気に誘われるまま、北鎌倉で途中下車し、八幡宮までぶらぶら歩いたときのことだ。境内の一隅に絵馬がたくさん吊してある。あれはなんと言うのか、掲示板みたいなのがあって、そのうちの何枚かをひっくり返したりして見ていたんだ。季節柄とはいえ、どれも〈凸凹大学に合格できますように〉といった内容のものばかり。ところがなんと〈浅野高校〉という文字がほくの目に飛び込んできたではないか。びっくりしたなんてものじゃない。しかもサインペンで書かれたその願文には、〈仲間たち全員が志望大学へ合格できますように〉とある。泣けたね。これが、この温かさこそが《浅野》の水脈なんだよ。

ひょっとして生徒ではなく先生か父母が祈願奉納したのかとも思って、学年主任を通じて確認してもらったが、やはり生徒のようだった。うれしかったねえ」

——大学入試の結果について。

「機会あるごとに言ったり書いたりしているように、浅野はある種の大学に向かってまっしぐら、といった学校ではない。網の目からこぼれ落ちるものにも目を注ぐことのできる人間、〈雪が溶けたら何になる?〉という質問の答えは〈水〉だけではなく〈春〉もまた正解だと言える人間になってもらいたいと、ほくだけでなく全教職員が願っている学校なんです。むろんそれは諸君に確固とした学力を身につけてもらうこととまったく矛盾しない。その結果が大学入試であり、その分母はあくまで〈春〉でなければならない。

相対的に見て前年度を上回る結果が得られたが、決して満足しているわけではない。諸君の潜在能力はこんなものではないと確信しているからだ。あくまで一例だが、東大の30人台など朝メシ前だ。もっともっと《学ぶこと》が好きになること、それに尽きる」

総会報告

平成10年度 浅野学園同窓会総会報告

浅野学園同窓会平成10年度総会は、平成10年11月14日(土)午後5より新横浜プリンスホテルにおいて、約200名の出席のもとに開催された。開会に先だって、石川喜教副会長(31期)の発声により物故会員のご冥福を祈って黙禱を捧げた後、司会・阿部義広(46期)によって開会が宣言され、次第書に従って議事が進行した。

※会長代行・石崎廣矣(15期)挨拶要旨「会長の石山延雄先生が9月17日に倒れられ、小田原市立病院に緊急入院された。顧問の石橋義史校長(31期)と、石川喜教教頭・岡本順太郎(38期)・石崎廣矣の3名の副会長とで9月23日、同窓会を代表してお見舞いに駆けつけたもののその後順調に快方に向かわれ、目下リハビリに専念しておられる。先生の日も早いご回復を皆様とともに祈りたい。

新規約に基づいて活動を開始したものの、会の運営には様々な問題が山積しており、それを一つ一つクリアしていかねばならぬが、それには全会員の絶大なご支援・ご協力をいただかねばならない。ぜひ深いご理解とお力添えをお願いしたい」

※学校長・石橋義史挨拶要旨「平成11年2月に行なわれる中学入試のための説明会が、学内の講堂や体育館で4回にわたって開催されたが、都合4000人に及ぶ小学生のご父母の参加を得た。冷えきった経済情勢や少子化といった厳しい状況裡にあって、ほんとうに感謝せずにはいられない。同時に現場にあるわれわれ教職員一同、日々の教育実践を心して踏み行なっていくべく、思いを新たにしている。併せて同窓諸兄の、母校に対する熱い眼差しを願ってやまない」

※議長選出：司会者より、議長に岡本順太郎副会長、記録を小池典(38期)を指名、承認されて議事に入った。

※第1号議案：「平成9年度事業報告」(石崎副会長報告)

(1)新規約の発効に伴い、まず組織づくりをし、役員候補者、運営委員を選出した。(別記)

(2)事業計画については、新規約による活性化の歩みを全会員、在校生等に理解を深めてもらうための方策を検討し、

①前年度から継続している事業(学校への寄付、懇親会等)と、②新たに実施していかねばならない事業(広報の発行等)について実施し、③更に平成10年度に生かし継続させることを考慮しながら、平成10年度の総会の準備を行ってきた。以上を報告、提案し、承認を得た。

※第2号議案：「平成9年度収支決算報告並びに監査報告」(川下資文会計・45期、広瀬昌治監事・53期)

平成9年度浅野学園同窓会収支計算書(別記)、平成9年度総会・懇親会収支計算書について報告。続いて監査の結果、適正に処理されていることが報告され、承認を得た。

※第3号議案：「平成10年度事業計画並びに予算案」(岡本副会長提案)

(1)同窓会に対する理解を深める事業として、全会員に新規約を配布すること、広報を年1回以上発行して会の消息を報せること、総会案内を新聞に掲載して呼びかけること、同窓意識の高揚をはかるためシンボルマークの作成を検討すること、会費の納入をお願いすること。

(2)在校生に対しての事業としては、卒業時に記念品として卒業証書ホルダーを贈与すること、同窓会長賞を設けて授与すること、平成10年度卒業生に同窓会名簿を配布すること、クラブ活動への支援を行なうこと。

(3)学校に対しては例年どおり寄付を行なうこと。

予算に関しては「平成10年度浅野学園同窓会予算案」に基づき施行すること。

以上を提案し承認を得た。

※第4号議案：「平成10年度役員承認」(石崎副会長提案)

平成10年度浅野学園同窓会役員名簿(別記)のとおり承認を得た。

※第5号議案：その他

卒業生に贈呈する卒業証書ホルダーの見本が石川副会長より開示された。

各議案とも全て満場一致の拍手によって承認され、午後6時に終了した。平成10年度役員の紹介と挨拶があり、淡路雅夫(40期)の閉会の挨拶をもって閉会した。

以上

● 平成9年度 同窓会収支報告 ●

(収入の部)		(支出の部)	
項目	金額	項目	金額
会費	10,389,800	通信費	980,185
預貯金利子	89,243	会議費	193,155
雑収入	10,800	印刷費	529,894
前期繰越金	30,783,668	総会・懇親会補助	582,568
		名簿作成費	415,800
		慶弔費	260,850
		寄付金	500,000
		雑費	315
		小計	3,462,767
		次期繰越金	37,810,744
合計	41,273,511	合計	41,273,511

● 平成10年度 同窓会役員 ●

期	役割	氏名
7	会長	石山延雄
31	顧問	石橋義史
15	副会長	石崎廣矣
38	副会長	岡本順太郎
31	副会長	※石川喜教
45	会計	川下資文
	会計	※岩崎正樹
45	監事	古川高夫
53	監事	※広瀬昌治

※は在校幹事

委員会から

(委員名の表中の太字は委員長、※は在校幹事)

財 務 財務委員長に任ぜられました45期・川下資文です。当委員会は私の外に学内委員として学校事務の岩崎さんと59期・広瀬教諭の3名で構成されております。当委員会の主たる任務は同窓会費の管理と、同窓会会員からの年度会費の徴収であります。

同窓会会員の皆様には、どうかご理解とご賛同を賜りまして、年度会費2千円の徴収にご協力のほどお願い申し上げます。(45期・川下資文)

●財 務	川 下 資 文
45期	※岩 崎 正 樹
53	※広 瀬 昌 治

総 務 今回、総務委員会を担当する11名は同窓会の円滑な運営のために検討、提案を重ねて、淡路先生にご指導を仰ぎながら、同窓会の活性化に向けて努力をいたしますので、会員の皆様のご協力を心からお願い申し上げます。

(36期・加藤勇治)

●総務	21期	大 原 恒 夫			
36期	加 藤 勇 治	22	神 保 信	23	阿 藤 潔
17	小 野 善 一	30	阿 藤 溝 賢	31	横 溝 賢 司
18	五十嵐 周 作	46	中 島 賢 雅	40	※淡 路 雅 夫
18	谷 口 榮 郎				
19	荻 部 吉 郎				

親 睦 昨年11月14日(土)新横浜プリンスホテルにおいて平成10年度の浅野学園同窓会総会に合わせて懇親会を開催することができました。当日は約200名の会員の皆様にご参加をいただき有難うございました。ご来賓として、退職した先生方を拍手で会場へお迎えし、18期加藤明会員の開会の辞、校歌斉唱、15期石崎同窓会副会長の挨拶、31期石橋学校長の挨拶、20期大山豊造会員の乾杯の音頭を皮切りに宴は和やかに進みました。懇親会の司会進行は、48期高橋洋一さんに昨年に引き続き担当していただきました。会場はあちらこちらで和やかな笑い声と歓談する会員でにぎわっていました。アトラクションには今回もジャズバンドと女性ジャズシンガーを招きジャズを楽しみました。最後に同窓会から学校へ記念品目録が贈呈され、応援歌でエールを現職の先生方にお贈りし、38期岡本副会長の閉会の辞をもってお開きとなりました。



●親睦	齋藤	藤山	清豐	紀造
48期	大上	杉藤	政行	勝一
20	加菜	花池		衛典
29	小池	田	政茂	弘男
30	原高	橋井	洋晴	一雄
36	※酒			
38				
40				
48				
48				
45				

平成11年度は、浅野学園創立80周年の前の年でもあり、例年の懇親会を行なわないため、それに代わる活動を企画しています。今後も親睦活動にご協力をお願い申し上げます。(48期 齋藤清紀)

広 報 1月末から再三にわたって委員会を開催してまいりました。広報第2号の内容検討、また、並行して念願のホームページ作成等、詳細を協議しながらやっと第2号の発行にこぎつけました。今号からは、全会員に発送するということもあり、関西廣済堂というプロの手をお借りしてA4版8ページという形となりましたが、まだまだ、企画も出そろっていませんし、原稿も足りません。会員皆様のご協力をお願いする次第です。

また、今回はまずインターネットのアドレスの確保を優先し、どうか今号に発表することができました。ホームページへのアクセスは、本年6月以降可能となるようスタッフ全員で努力しています。もうしばらくお待ちください。(45期・古川高夫)

●広	報				
45期	古	川	高	夫	
38	山	口	秀	男	
48	佐	藤	洋	輔	
49	細	野	泰	彦	
58	都	築	淳	一	
46	※阿	部	義	広	

会員だより

・ 1

わが校歌

38期・山 口 秀 男

「南に海原 西には高嶺……」ご存じ、浅野学園校歌の歌い出しです。

この校歌の作者は、作詞：高野辰之、作曲：信時潔とあります。あの有名な唱歌「うさぎ追いしかの山」で始まる『故郷』、「秋の夕陽に照るやまもみじ」の『紅葉』、その他『春がきた』『春の小川』などの作詞者が高野辰之、そして有名な戦中歌『海ゆかば』の作曲者が信時潔です。信時潔は他に歌曲なども手がけておりますが『慶応義塾塾歌』『成蹊学園歌』『学習院院歌』等日本各地の中高等学校や大学の校歌を多数作曲し、また、皇室関係の作曲なども拝命しており、当時の氏の隆盛を伺い知ることができます。

多くの人に愛され歌いつがれる曲を沢山残した著名な両者が愛情を込めて作った『浅野学園校歌』、同窓生の心の中に永遠に刻みこまれる所以はこの辺にあるのでは……。

私と同期の岡本順太郎君が、浅野関係の集まりで校歌を歌う際、「世界三大校歌のひとつ、我が浅野学園校歌！」と、声高らかに言って音頭をとり、始めますが、上記の記述を以てするとあながち冗談ではないような気がし、「日本三大校歌のひとつ」と言われれば真実味がかなり出てくるようです。ちなみに、今浅野学園から見る〈南に海原〉は〈南にベイブリッジ〉と変身しております。

同窓会規約

第1章 総則

(名称)

第1条 本会は、浅野学園同窓会と称する。

第2条 本会の本部は、浅野学園内に置く。

第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 本会は、浅野学園の愛校精神に則って会員相互の親睦を図り、浅野学園及び浅野学園同窓会の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 本会は、前3条の目的を達成するため、文化的事業及び会報の発行、名簿の作成等必要と認めた事業を行なう。

第3章 会員

(会員)

第5条 本会の会員は、次の通りとする。

1. 浅野総合中学校・浅野学園高等学校・浅野高等学校の卒業生
2. 浅野学園の教職員及び教職員であった者
3. その他会長が推薦し、役員会で承認された者

第4章 役員

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- | | |
|--------|----------------|
| 1 会長 | 1名 |
| 2 副会長 | 3名 (学内教頭・学外2名) |
| 3 運営委員 | 若干名 |
| 4 会計 | 2名 (学内1名・学外1名) |
| 5 監事 | 2名 (学内1名・学外1名) |
| 6 顧問 | 若干名 |

(役員選出)

第7条 会長及び副会長は、役員会において会員のうちから選任する。

第8条 運営委員は、幹事の中から選出する。

(役員任期)

第9条 役員任期は、2年とする。但し、再選を妨げない。中途で就任した役員は前任者の残りの期間とする。

(役員任務)

第10条 役員は、それぞれ次の任務を行なう。

- 1 会長は、本会を代表し、会務を統括する。
- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故ある時は、その職務を代行する。
- 3 運営委員は、本会の会務を分掌する。
- 4 会計は、本会の会計事務を処理する。
- 5 監事は本会の会計について監査し、その結果を役員

会及び総会に報告する。

6 顧問は、会長の諮問を受け、役員会において意見を述べるができる。

第5章 会議

第11条 本会の会議は、総会、幹事会、役員会の3種類とする。

(役員会)

第12条 1 役員会は、会長が召集する。定例の役員会は、毎年2回開催する。但し必要に応じて臨時役員会を開催することができる。
2 役員会は、事業報告、会計報告、事業計画、予算の編成、規約の変更、名簿の作成、その他必要な事項について審議決定する。

(幹事会)

第13条 幹事会は、各卒業期から1名～2名の代表者をもって構成する。

(幹事会及び総会の召集)

第14条 幹事会及び総会は、毎年1回開催する。但し、会長もしくは役員会で必要と認めるときには臨時に幹事会及び総会を開催することができる。

(幹事会及び総会の権限)

第15条 次の事項は、役員会の議を経て、幹事会及び総会の承認を得なければならない。

- 1 役員の任免
- 2 予算及び決算の承認
- 3 規約の改廃
- 4 その他必要と認めた事項

(幹事会及び総会の運営)

第16条 1 会議の議長は、出席会員の中から選任する。
2 議事は、出席者の過半数により決定し、可否同数の場合は、議長がこれを決定する。
3 規約の改廃は、幹事会並びに総会出席者の3分の2以上の賛成を必要とする。

第6章 会計

第17条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

- 本会の経費は、次のものをもって当てる。
- 1 会費 (但し、金額は細則をもって定める)
 - 2 寄付金
 - 3 その他の収入

第7章 細則

第18条 この規約についての細則は、役員会において定める。

付則

- ① この規約は、昭和24年12月4日に制定し、同日から施行する。
- ② 同、昭和27年11月に改正。
- ③ 同、昭和54年8月11日に改正。
- ④ 同、平成8年11月に改正。
- ⑤ 同、平成9年11月に改正。

会員だより

・2

インターネット

49期・細野泰彦

朝、新聞を読まない人が多くなった。ニュースを知るならテレビで充分だし、新聞で最も読まれるのはテレビ欄だという。テレビのニュースすら見ない人も増えている。実際、新聞やテレビ、ラジオのメディアより、雑誌や口コミ(お喋り・会話)の情報に、結果として頼ってしまう比重が大きい。

新しいメディアとして、インターネットが急速に浸透してきた。インターネットは、大学間の研究として始まり、今でもその延長線上にあるが、もはやそれを意識しなくて構わない。一般の人は、パソコンを持ち、プロバイダーと呼ばれるインターネット回線接続業者へ加入して、電話代を払えば、タダ同然でインターネットの情報が得られる。

昔は海外の情報を得るためには、大きな図書館に行き、外国雑誌や洋書を手がかりに、空振り覚悟で、足で稼ぐ知的作業が必要であった。苦勞して得た情報は最新のものとなく、早くて数カ月前、大抵は数年前の情報である。最近では、事情が一変した。

インターネットはパソコンを使うので、これに馴染みのない人には、無関係あるいは敷居が高いと感じられ、必要がないと片付けてしまうだろう。インターネットによる犯罪や有害情報も沢山あると聞けば、益々これを遠ざける口実になる。しかし、インターネットは、従来のメディアを遙かに凌ぐ巨大な情報源である。海外の人とも自由に交信できる郵便や電話、ファックスに替わりうる通信手段でもある。

各地、各国で活躍している同窓生や、世代を超えた同窓生にも、本会の諸活動が生かされるために、同窓会では、積極的にインターネットに対応しようとしている。特に、中高年の方には、是非、インターネットを利用されることをお勧めする。裏千家の宗匠がどの銘柄のお茶を使っているかが2分で分かり、そのお茶をインターネットで購入するといった使い方もあるからである。

掲 示 板

同期会の案内、その他同窓会員への広報を目的とした〈お知らせ〉を掲載ご希望の方は
原稿をお寄せください。〔浅野中・高等学校 阿部義広まで TEL 045 (421) 3281 〕
FAX 045 (421) 4080 〕

No. 1**浅野学園同窓会ホームページ開設**

- ・ 6月よりアクセスできます。近況報告、同期会のお知らせ等、多くの会員の皆様のご活用をお待ちしております。

[アドレス→<http://www.alles.or.jp/~asanodou>]

**No. 2****53期(昭和51年3月卒)同期会のご案内**

- ・ 7月末開催予定
- ・ 日時、会場、会費、等の詳細は、改めて6月下旬に案内状をお送りします。
- ・ ご質問は、浅野中・高等学校 広瀬 昌治(理科)まで。

**No. 3****平成11年度 浅野学園同窓会総会のご案内**

- ・ 日時 5月29日(土) 午後2時～
- ・ 会場 浅野学園講堂
- ・ 詳細は、会報と同封の案内状をご覧ください。

※本年度は懇親会は行ないませんが、学校の新校舎見学がてら同期の方々お誘い合わせのうえ(同期会の実施をご検討ください)ご出席ください。

同窓会名簿の発刊

同窓会では、学園の80周年に合わせて『同窓会会員名簿』(ハードカバー B5版 約500頁)の発刊を計画しております。発行時期、価格は未定ですが、追ってご案内をお送りいたしますので、ご希望の方は学園内同窓会事務局までお申し込みください。

No. 4 (学校より)**《平成11年度の主な学校行事》****打越祭**

- 第1部文化祭……9月11日(土)、12日(日)
(雨天実施)
- 第2部体育祭……9月26日(日)
(雨天順延)

中学入試説明会(一般対象)

- 会 場：浅野学園体育館または講堂
- 第1回……10月16日(土)午後
- 第2回……11月 6日(土)午後

※詳細は学校にお問い合わせください。

No. 5 (学校より)**学園の史料を
探しています!!**

浅野学園は、平成12年1月20日で創立80周年を迎えます。現在記念誌の編纂と合わせて、80年の歴史を彩る史料(写真、アルバム、8mmフィルム、文集、成績資料、その他の配布物、等)を収集しておりますが、古い史料は散逸してしまい、なかなか手に入らずにいます。特に戦前から昭和30年代ぐらいまでの貴重な史料をお持ちの同窓会員の方がいらっしゃいましたら、ご連絡をいただきたく思っております。

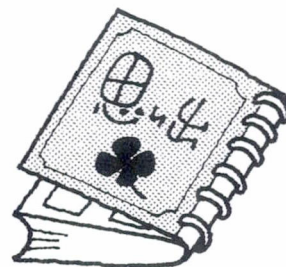
ご協力をよろしくお願い申し上げます。

連絡先～浅野中・高等学校 出井善次(社会科)まで

創立80周年に向けて

浅野学園同窓会副会長 石川 喜 教 (31期)

学園は平成12年で創立80周年を迎え、5月には記念式典を予定しています。学校ではこれを契機にいくつかの記念行事についての検討がなされ、すでに平成8年度からその一部は作業に取りかかっております。こうした周年行事の一つとして記念誌の発行は当然のことですが、今回は『70年史』以降の10年間の学園の流れを編集することにしました。また、学園にとってこの10年間には校舎の建て替えがあり、校舎が全く一新されました。そこで旧校舎の名残を残す物の保存についても検討し、学校史料保管室を設置し、史料の収集保管に当たると共に、将来的には、整理が一段落したところで史料展示が出来るようにしたいと考えています。その他、写真資料の収集、16ミリ、8ミリフィルムのビデオ化、音声テープ資料の保存、「80周年記念の歌」の募集等が進行中です。——16ミリ・8ミリのビデオ化は、編集することにより「音と映像による学園史」になると思います。しかし、いずれの作業も手間と時間と費用もかかり担当者の努力に負うところが大です。古い写真資料などは、時間の経過に伴い失われていきます。これはと思う資料をお持ちの卒業生の方がおられましたら是非ご提供いただきたいと思います。また、80周年を記念して「記念の歌」を作ることになり、作詞・作曲を生徒から募り、折に触れて歌える学生歌として唄われるものにしていきたいと考えています。



さて、私こと、3月末をもって教頭職を退任しました。在任中は、いろいろとご協力を賜り感謝しております。ありがとうございました。浅野学園の今後の発展のためには同窓の皆様のご協力は不可欠です。今後共よろしくご支援ください。

(編集部注) 平成10年度をもって石川教頭先生は、定年のため教頭職を退任なされ、それに伴って同窓会副会長も退かれることになります。長い間同窓会のためご苦勞をいただき、ありがとうございました。

編 集 後 記

昨年11月、同窓会報第1号を発行し、ホッとする間もなく、第2号の企画編集にとりかかりました。第1号の発行は、石橋校長・石川教頭はじめ、国語科・阿部先生の大奮闘により、無事に発行することができました。今回第2号の発行は、広報委員会も組織され、委員全員の積極的な活動の結果、会報名も『銅像山通信』として、A4版8頁で会員の皆様にお届けすることになりました。また、会報と同時にホームページの立ち上げに向けても、6月スタートを目標に、順調に進行しています。アドレスも下記のとおり決まりました。

※

私共45期の在学中は、名物校長で名高い神名校長、卒業時に浜野校長、卒業後は現同窓会長の石山校長、故山口校長を経て、現石橋校長に続く浅野の歴史を拝見させていただきました。その間今日まで、歴代校長はじめ、熱意ある先生方や同窓会諸兄の並々ならぬご努力により、現在の浅野が築き上

げられました。質の高い受験者数の多さがそれを物語るぐらい社会的レベルの高い学園にと発展したことは、皆様周知のことと存じます。そして昨年10月の幹事会席上で石橋校長が次のようにおっしゃっておられました。「校歌の一節にある〈為すべき務めを為す〉、この当たり前のことを、学校全職員が一丸となって、踏み行なっていく」。その熱意が伝わって、今以上に明るい浅野の将来を確信する思いでした。

※

今後でもできるかぎり各委員会と連携をとりながら充実した楽しい広報にしたいと思います。加えてホームページも楽しみにお待ちください。また同時に、会員の皆様には寄稿その他のご協力を心からお願い申し上げます。

最後になりましたが、今回原稿をお願いした方々が、快くお引き受けいただきましたこと、心よりお礼申し上げます。(45期・古川)

〔ホームページアドレス
http://www.alles.or.jp/~asanodou〕

『銅像山通信』・第2号

発行日 平成11年4月26日(月)

発行人 浅野学園同窓会
代表 石山 延雄

発行所 ㊟221-0012
横浜市神奈川区子安台1-3-1
浅野中学・高等学校
TEL 045-421-3281
FAX 045-421-4080

編集 浅野学園同窓会広報委員会

印刷 ㊟105-0014
港区芝3-4-12 2F
(株)関西廣済堂 東京営業所
TEL 03-5442-0371